

2022年度 全国通訳案内士試験 (国家試験)

英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、中国語、イタリア語、ポルトガル語、ロシア語、韓国語、タイ語

願書受付期間：6月1日(水)～7月11日(月)

筆記試験：8月21日(日) 口述試験：12月11日(日)

観光庁長官試験事務代行機関 独立行政法人国際観光振興機構(通称：日本政府観光局(JNTO))

施行要領

目次

1. 試験科目	2
(1) 筆記試験 (2) 口述試験	2
2. 試験日時、受験資格、受験地、結果通知について	2
(1) 筆記試験 (2) 口述試験	2
3. 願書の申請期間及び申請方法等	4
(1) インターネットによる電子申請	4
(2) 写真	9
(3) 申請後の変更	10
(4) 二カ国語受験	12
4. 免除申請について	13
5. 免除申請早見表	15
(1) 英検免除 (2) TOEIC 免除 (3) 仏検免除 (4) 西検免除 (5) DELE 免除 (6) 独検免除	
(7) 中検免除 (8) HSK 免除 (9) 伊検免除 (10) ハン検免除 (11) TOPIK 免除	
(12) 旅取免除 (13) 歴検免除 (14) センター日本史 B 免除 (15) センター現代社会免除	
(16) 前年度一部合格科目免除 (17) 前年度 5 科目合格者免除	
(18) (他の外国語での) 既合格者免除 (19) 地域限定通訳案内士試験合格者免除	
6. 受験願書入力方法	18
7. 受験手数料	20
(1) 手数料額 (2) 支払方法	20
8. 受験票の交付	21
9. 試験当日の注意、新型コロナウイルス感染症などへの対応について	21
10. 合格後の手続き	22
11. よくある質問(Q&A)	23
12. 「開封無効」の書類送付先・お問合せ先	24
13. 個人情報保護方針について	24

施行要領には最終合格発表までのことが書かれています。全ての試験が終了するまで保存してください。

試験実施に関し、変更がありましたら、日本政府観光局(JNTO)ホームページ

「2022年度全国通訳案内士試験」に掲載しますので、適宜、御確認ください。

https://www.jnto.go.jp/jpn/projects/visitor_support/interpreter_guide_exams/copy_of_index.html

1. 試験科目

(1) 筆記試験（全科目マークシート方式）

午前① 外国語

英語、中国語、韓国語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、イタリア語、ポルトガル語、ロシア語、タイ語

午後② 日本地理

③ 日本歴史

④ 産業・経済・政治及び文化に関する一般常識

⑤ 通訳案内の実務

(2) 口述試験

通訳案内の実務（通訳案内の現場で必要とされるコミュニケーションを図るための実践的な能力について、選択した外国語により判定）※選択外国語は、筆記試験と同一とする。

2. 試験日時、受験資格、受験他、結果通知について

【筆記試験】

・試験日時

2022年8月21日（日）

試験科目	開場時間	着席時間（説明開始）	試験時間
外国語	10：00	10：45～11：00	11：00～12：30（90分）
日本地理	13：10	13：30～13：40	13：40～14：10（30分）
日本歴史	-	14：30～14：40	14：40～15：10（30分）
一般常識	-	15：30～15：40	15：40～16：00（20分）
通訳案内の実務	-	16：20～16：30	16：30～16：50（20分）

※試験時間は変更になる場合があります。

詳細は電子申請システムトップページ及び受験票にてご確認ください。

・受験資格

年齢、性別、学歴、国籍等に関係なく、だれでも受験できます。

・受験地

札幌市、仙台市、東京近郊、名古屋市、大阪近郊、広島市、福岡市、沖縄県

※2022年度の海外および準会場での試験は実施しません。

※試験会場は8月上旬に電子申請システム内の個人ページ（以降、【マイページ】

トップページの[マイページログイン]ボタン）に公開する受験票でお知らせいたします。

・筆記試験結果

2022年11月10日（木）予定

受験者全員に結果をマイページにて公開いたします。

※マイページは2023年3月1日より閲覧できなくなります。必要事項は必ずお控えください。

【口述試験】

・試験日時

2022年12月11日（日）

※試験時間は11月下旬、マイページに公開する口述試験受験票にてお知らせいたします。

・受験資格

筆記試験に合格した方（筆記試験を免除される方を含む）が受験できます。

・受験地

英語・中国語・韓国語	東京近郊、大阪近郊、福岡市 ※筆記試験を東京近郊・大阪近郊・福岡市で 受験された方は同一地域
英語・中国語・韓国語以外の外国語	東京近郊

※二カ国語受験者は、二カ国語ともに同一の受験地・試験会場です。

※英語、中国語、韓国語を選択された方で、筆記試験を

「札幌市、仙台市、名古屋市、広島市、沖縄県」で受験された方は、口述試験受験地を
「東京近郊、大阪近郊、福岡」から選択して頂きます。

※選択できる受験地の詳細は「3. 願書の申請期間及び申請方法等の【受験地】」を
ご確認ください。

※試験会場は11月下旬、マイページに公開する口述試験受験票にてお知らせいたします。

・口述試験結果

2023年2月3日（金）予定

① 官報で合格者氏名及び受験番号を公示します。

「官報ウェブサイト」<https://kanpou.npb.go.jp>（発表日から一定期間のみ閲覧可能）

② 受験者全員に結果をマイページにて公開いたします。

最終合格者には全国通訳案内士試験合格証書を、不合格者のうち筆記試験に合格した者には
筆記試験合格証書を、それぞれマイページで交付いたします。

※マイページは2023年3月1日より閲覧できなくなります。合格証書の出力を済ませ、必要事項は必ずお控えください。なお、閲覧停止後の再閲覧や掲載情報の問い合わせ等には応じられませんので、ご注意ください。

3. 願書の申請期間及び申請方法等

インターネットによる電子申請受付のみとなります。

印刷物による願書等の配布は行っておりません。

封書にて印刷版願書・施行要領等の送付請求がなされた場合、受取拒否をさせていただきます。
予めご了承ください。

2022 年度全国通訳案内士試験に関するページ

https://www.jnto.go.jp/jpn/projects/visitor_support/interpreter_guide_exams/copy_of_index.html

日本政府観光局（JNTO）は、2022 年度全国通訳案内士試験に係る事務手続き、
試験運營業務等を株式会社 TKP コミュニケーションズに委託しています。

(1) インターネットによる電子申請

① 申請期間

2022 年 6 月 1 日（水）10：00～7 月 11 日（月）23：59（日本時間）

※7 月 12 日（火）0：00 以降は願書を提出することができません。

※申請期間内であればいつでも申請可能ですが、申請期間を過ぎると申請不可となります。

7 月 11 日（月）23：59 時点で申請が完了していない場合、申請は無効となりますので
ご注意ください。

② 申請方法

下記にアクセスし入力画面の指示に従って申請をしてください。

電子申請システムトップページ

<https://shiken.jnto.go.jp/>

申請手順

電子申請システム (<https://shiken.jnto.go.jp/>) にアクセス

メールアドレス登録 ※重複登録不可
※代理人の方が自身のメールアドレスを用いて複数人の代理申請を行うことは不可

受験者情報の登録
受験者情報・写真データ登録

受験科目・希望受験地・免除申請の登録
外国語受験科目、希望受験地の選択
免除科目の選択と必要な提出書類のアップロード（免除申請する場合のみ）

受験手数料支払い手続き

願書提出

願書受領のお知らせ
願書が提出されると自動返信メールで「願書受領」のお知らせをいたします。

【事務局確認】
申請書類審査完了後、メールで「承認」のお知らせをいたします。
※不備がある場合は、メールまたは電話でご連絡いたします。
※「承認」された方のみ受験ができます。

【申請に関する注意事項】

※願書申請をする為にメールアドレスのご登録が必要です。

ご自身のメールアドレスをご用意してください。

※メールアドレスを重複してご利用いただくことはできません。

※代理人の方が自身のメールアドレスを用いて複数人の代理申請をすることはできません。

※入力ミスによる変更、修正、追加は認められません。

ただし、願書提出が完了するまでは登録内容の修正ができます。

※申請情報は出願者本人が入力してください。

入力代行に起因する誤入力についても変更、修正、追加は一切認められません。

※願書提出後の「受験科目、選択外国語、受験地、免除申請」の変更・追加はできません。

※複数の受験申請をした(複数の願書を提出した)場合、すべての受験申請を無効とします。

※免除申請書類は電子申請時にアップロードしていただきますので書類を画像等にし、PCやスマートフォン等に保存するなどしてご用意の上、電子申請を行ってください。

※身体の障がい等により特別な手配が必要な方は、必ず電子申請時に希望する配慮事項と配慮が必要な理由を入力してください。

診断書の提出が必要な場合があります。

また、使用機器等がある場合は使用機器の名称や品番等をお伺いさせていただきます。

【本籍・国籍・氏名・生年月日】

本籍、国籍、氏名、生年月日は、下記の入力要領に従って入力してください。

(入力内容に誤りがあると、試験に合格しても都道府県知事への登録ができない場合がありますのでご注意ください。受験票や結果通知、合格証書など試験関連書類は、戸籍どおりの漢字が印字できない場合、カタカナ等に変更されることがあります。予めご了承ください。)

(入力要領)	本籍・国籍	氏名	生年月日
日本国籍を有する日本居住者	日本語で本籍を入力 (戸籍に記載されている本籍都道府県名。国籍は不要)	日本語で入力 (戸籍に記載されている氏名)	西暦 (戸籍に記載されている生年月日)
外国人登録を受けた者(日本居住者)	日本語で国籍を入力 (在留カードに記載されている国名等)	ローマ字(Roman Alphabet)で入力(在留カードに記載されている氏名。漢字氏名が記載されている方は漢字も可)	西暦 (在留カードに記載されている生年月日)
日本国籍並びに外国籍の日本非居住者	国籍を入力 (パスポートに記載されている国名等)	ローマ字(Roman Alphabet)で入力(パスポートに記載されている氏名)	西暦 (パスポートに記載されている生年月日)

国籍名は、プルダウンメニューより選択してください。プルダウンメニューにない国籍の場合は「その他」(「others」)を選択し、国籍名を入力してください。

【注】外国籍の受験者が試験を受験するため日本に入国する際に、査証発給のための
招聘状発行や身元保証等の手続きが必要となる場合、弊局ではそれら手続きに関する事務
は対応いたしませんのでご理解ください。

【住所・電話番号・メールアドレス】

- ・ 現住所欄には、日本居住者は住民票または在留カードの記載どおりに入力してください。
住所を入力する際は、都道府県名も入力してください。
(外国居住者は国名を含めて入力してください。また、電話番号は国番号も含めて入力してください。)
- ・ メールアドレスは必ず出願者本人のものを入力してください。
- ・ 緊急連絡先欄には、日中に連絡可能な携帯電話・勤務先等の名称を入力してください。
「その他」の場合は代理人・家族の氏名等具体的にしてください。

【受験外国語】

- ・ 受験外国語の欄には全国通訳案内士の資格を取得しようとしている外国語を選んでしてください。
筆記試験外国語科目の免除を申請する受験者もしてください。
願書提出後の受験外国語の変更・追加はできません。

【受験外国語（中国語）】

- ・ 中国語を受験される場合、簡体字と繁体字のどちらかを選択する必要があります。
なお、簡体字・繁体字は一部問題が異なる場合があります。

【受験地】

- ・ 受験地は以下表中から該当する受験地を選んでしてください。
願書提出後の受験地の変更はできません。
※英語、中国語、韓国語を選択された方で、筆記試験を
「札幌市・仙台市・名古屋市・広島市・沖縄県」で受験された方は、
口述試験受験地を「東京近郊、大阪近郊、福岡」から選択していただきます。

表：受験外国語/筆記・口述試験別 受験地一覧

受験外国語科目	筆記試験受験地（選択可）	口述試験受験地（選択制度あり）	
英語 中国語※ 韓国語	1. 東京近郊 2. 大阪近郊 3. 福岡市	1. 東京近郊 2. 大阪近郊 3. 福岡市	筆記試験と同一地域
※中国語は、簡体字か繁体字の選択制です。	4. 札幌市 5. 仙台市 6. 名古屋市 7. 広島市 8. 沖縄県	1. 東京近郊 2. 大阪近郊 3. 福岡市 から選択	
フランス語 スペイン語 ドイツ語 イタリア語 ポルトガル語 ロシア語 タイ語	1. 東京近郊 2. 大阪近郊 3. 福岡市 4. 札幌市 5. 仙台市 6. 名古屋市 7. 広島市 8. 沖縄県	1. 東京近郊	
すべての外国語	筆記試験免除の方は筆記試験受験地に「免除」を選択（すべての科目の免除申請を行う方、または2021年度筆記試験合格証書を持ち、筆記試験免除申請をする方）	英語・中国語・韓国語は以下より選択 1. 東京近郊 2. 大阪近郊 3. 福岡市 ※英語・中国語・韓国語以外は東京近郊のみ	

※二カ国語受験者の口述試験は、二カ国語ともに同一の受験地・試験会場です。

※二カ国語受験する方で、受験外国語に英語・中国語・韓国語以外の外国語が含まれる場合、口述試験受験地は**東京近郊**となります。

(2) 写真

写真は電子申請システム内にアップロードしてください。

(アップロードとはパソコン又は携帯電話・スマートフォン内の画像ファイルを送信することです。電子申請システム内の「写真をアップロード」ボタンをクリックすると画像の選択・保存ができます。)

試験会場で本人確認をする際に用いますので、履歴書に貼り付けるような判別できるものをアップロードしてください。

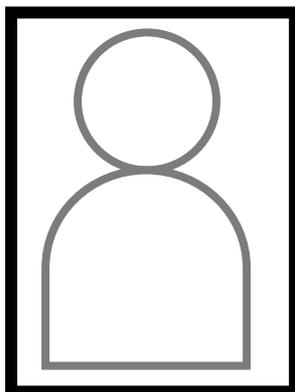
写真の形式は JPEG(ジェイペグ)によるファイルサイズ 10MB(メガバイト)以下のデジタル写真とし、縦320ピクセル、横240ピクセル(縦4cm×横3cm)の写真を用意してください。

(縦・横サイズはアップロード時に自動調整いたします)。なお、携帯電話・スマートフォン等で撮影したものでも構いませんが、下記の規定は厳守してください。

【写真の規定】

240 ピクセル (3cm)

320
ピクセル
(4cm)



- ・カラー又は白黒で、申請日より6か月以内に撮影したもの。
- ・縦320ピクセル×横240ピクセル(縦4cm×横3cm)
(縦・横サイズはアップロード時に自動調整いたします)
- ・帽子、マスク、サングラス等を着用していないもの。
- ・ご本人のみが写っているもの。
- ・ほかの人物及び特定できる文字や建物が映っていないもの。
- ・無背景、白無地または背景の色が強くないもの。
- ・正面を向いて本人の肩から上、頭頂部まで顔や輪郭がはっきりと判別できるもの。
- ・受験時に眼鏡を使用する場合、眼鏡をかけて撮影したもの。

(3) 申請後の変更

願書申請後、入力した項目内容に変更があった場合は、マイページ内で変更をしてください。

※次ページ【登録変更早見表】の項目に「● 要提出書類」と記載のある項目を変更する場合は、変更内容を証明する書類の提出が必要です。該当書類をマイページからアップロードしてください。

※時期により、変更できる項目が異なります。変更可能な項目は、次ページの【登録変更早見表】をご確認ください。

※メールアドレス、マイページへのログインパスワードは時期に係わらず変更可能です。
事務局からメールでご連絡する可能性がございますため、常に受信可能なメールアドレスを登録してください。

※変更手続きの時期により、受験票・結果通知を変更前の情報で交付する場合がございます。予めご了承ください。

<変更に必要な提出書類>

下記の表で要提出書類と記載のある項目を変更する場合は下記の書類をアップロードしてください。

【日本国籍の方】

戸籍抄本/戸籍謄本（本籍・国籍・氏名・住所等変更の場合）、
婚姻届受理証明書（婚姻による氏名変更の場合）
発行日から6カ月以内の原本でいずれか1つ

【外国籍の方】

在留カード・パスポートのいずれか1つ

※上記以外の書類は原則不可です。運転免許証の裏面は不可。

【登録変更早見表】 ※期間変更の可能性がございますので電子申請システムでご確認ください。

項 目	願書提出前 再提出	筆記試験受験票掲載内容の変更	口述試験受験票掲載内容の変更	合格証書・官報掲載内容の変更
		願書提出後～ 筆記試験受験票交付まで	筆記結果発表～ 口述試験受験票交付まで	口述試験受験票交付～ 口述試験結果発表
メールアドレス	○	○	○	○
パスワード	○	○	○	×
氏名 姓	○	● 要提出書類	● 要提出書類	×
氏名 名	○	● 要提出書類	● 要提出書類	×
フリガナ 姓	○	● 要提出書類	● 要提出書類	×
フリガナ 名	○	● 要提出書類	● 要提出書類	×
性別	○	● 要提出書類	● 要提出書類	×
生年月日	○	×	×	×
本籍	○	● 要提出書類	● 要提出書類	×
国籍	○	● 要提出書類	● 要提出書類	×
郵便番号	○	○	○	○
住所（郵便番号とセット）	○	○	○	○
電話番号・携帯番号	○	○	○	○
FAX番号	○	○	○	○
緊急連絡先種別	○	○	○	○
緊急連絡先電話番号・携帯番号	○	○	○	○
緊急連絡先FAX番号	○	○	○	○
希望する配慮事項	○	○	○	×
希望する配慮事項の根拠書類	○	○	○	×
受験外国語	○	×	×	×
受験第二外国語	○	×	×	×
希望受験地	○	×	×	×
免除科目	○	×	×	×
免除科目添付書類	○	×	×	×

(4) 二カ国語受験

本年度受験を希望する二カ国語の内、1つ以上の外国語科目が免除となる場合は二カ国語受験が可能です。受験科目の免除については、免除申請早見表をご参照ください。

	受験外国語	受験第二外国語	申込可否
筆記試験会場での受験・免除	受験	免除	○申込可
	免除	免除	○申込可
	受験	受験	×申込不可

① 外国語免除科目が1つ

【願書への入力方法】

「受験外国語」：免除でない外国語 ※筆記試験会場での受験

「受験第二外国語」：免除となる外国語 ※該当する外国語の免除申請が必要です。

【受験方法】

- ・受験外国語(免除でない外国語)と、日本地理、日本歴史、産業・経済・政治及び文化に関する一般常識、通訳案内の実務のうち、免除対象となっていない科目を受験してください。

【口述試験】

- ・筆記試験に合格した場合、口述試験は同じ試験会場で二カ国語をそれぞれ異なる時間帯に受験します。
- ・筆記試験で受験した外国語が不合格で、日本地理、日本歴史、産業・経済・政治及び文化に関する一般常識、通訳案内の実務がすべて合格または免除の場合、「受験第二外国語」(免除を申請した外国語)の口述試験のみ受験してください。

② 外国語免除科目が2つ

【願書への入力方法】

「受験外国語」：免除となる外国語 ※該当する外国語の免除申請が必要です。

「受験第二外国語」：免除となる外国語 ※該当する外国語の免除申請が必要です。

【受験方法】

- ・日本地理、日本歴史、産業・経済・政治及び文化に関する一般常識、通訳案内の実務のうち、免除対象となっていない科目を受験してください。

【口述試験】

- ・筆記試験に合格した場合、口述試験は同じ試験会場で二カ国語をそれぞれ異なる時間帯に受験します。

4. 免除申請について

免除申請早見表の(1)から(19)に該当する方は、筆記試験科目の一部または全部の免除を申請できます(通訳案内士法第7条)。免除申請される方は必ずお読みください。

過去に免除申請を行った方も、今年度試験において免除申請を行う場合は、あらためて申請を行ってください。

免除申請に必要な証明書類(合格証明書等)もあらためて提出が必要となりますので、免除申請早見表に記載の該当する証明書類をご用意の上、申込期間内(厳守)にマイページよりアップロードしてください。 但し、大学入試センターより発行される「開封無効」の書類を証明書類とする方は次ページの【「開封無効」書類送付先】まで郵送でご提出ください。

※提出いただいた書類は返却しません。

※合格証明書の入手方法は各試験実施団体にお問合せください。

※願書提出後の受験科目免除の追加・変更はできません。

※筆記試験当日以前に検定試験に合格した場合や TOEIC で基準点数以上の得点を得た場合でも、新たに免除を申請することはできません。

※有効期限を設定している資格があります。(TOEIC・大学入試センター試験)

指定期間外の資格による免除申請はできません。免除申請早見表をご確認ください。

※2021年度全国通訳士試験で筆記試験を受験し合格した科目は2022年度に限り免除申請ができます。2021年の結果通知書及び免除申請早見表をご確認ください。

※各検定試験実施中止による科目免除申請への特別措置はございません。

※免除申請書類は国内在住、海外在住どちらの方も、7月11日(月)中に電子申請システムより該当の書類をアップロードしてください(7月12日(火)0:00以降は書類のアップロードならびに、願書の提出ができませんので、ご注意ください)。

※免除申請書類が期限内にアップロードされない場合は、免除申請は受理されません。

※大学入試センターより発行される「開封無効」の書類のみ、郵送で受け付けます。

開封せず電子申請後2日以内に「簡易書留」または「レターバックプラス」で送付してください。

※7月11日(月)に電子申請を行った方は7月11日(月)消印にて書類を送付してください。

7月11日(月)消印までが有効です。ご注意ください。

※普通郵便やレターバックライト、現金書留および宅配便等では送らないでください。

(信書扱いのため宅配便は受け取ることができません)

※海外在住の方も、大学入試センターより発行される「開封無効」の書類のみ、郵送で受け付けます。開封せず、郵政事務を所掌する官公庁等が取り扱うEMS便で送付してください。海外から郵送の場合は、電子申請後2日以内に送付してください。

7月12日(火)必着で送付してください。

7月13日(水)以降は受理されません。ご注意ください。

【「開封無効」書類送付先】

〒790-0011

愛媛県松山市千舟町4丁目3-7 青野ビル

株式会社 TKP コミュニケーションズ内 全国通訳案内士試験事務局

電 話：050-3659-6494（土日・祝日・年末年始を除く10：00～17：00）

※各資格取得以降（大学入試センター試験は試験成績通知書を取得以降）に**氏名が変更**となっている方は、下記の公的な証明書を受験科目選択ページにアップロードしてください。
下記の証明書をご用意できない方は、事務局までご連絡ください。

<公的な証明書にあたる書類>

【日本国籍の方】

戸籍抄本/戸籍謄本（本籍・国籍・氏名・住所等変更の場合）、
婚姻届受理証明書（婚姻による氏名変更の場合）
発行日から6か月以内の原本でいずれか1つ

【外国籍の方】

在留カード・パスポートのいずれか1つ

※上記以外の書類は原則不可です。運転免許証の裏面は不可。

5. 免除申請早見表

免除申請がある場合は下記をご確認の上、電子申請システムより免除申請の手続きをしてください。

申請の種類	対象者	筆記試験科目					添付書類有無	免除申請の有効期限の有無		
		外国語		日 本 地 理	日 本 歴 史	一 般 常 識			通 訳 案 内 の 実 務	
		英語 仏語 西語 独語 中国語 伊語 韓国語	その他							
(1)	英検免除	実用英語技能検定1級合格者	英語 免除					※公益財団法人日本英語検定協会発行の「合格証明書」(和文のみ有効・コピー可)を添付してください。	有	無
(2)	TOEIC免除	TOEIC(下記①～③のいずれか) ①Listening&Reading Test 900点以上 ②Speaking&Writing Testの内、Speaking Test 160点以上 ③Speaking&Writing Testの内、Writing Test 170点以上 ※全て公開テストに限る。 IPテスト(社内・学内で実施されている団体特別受験制度)は対象外	英語 免除					※Educational Testing Service制作のTOEICテストの「公式認定証(OFFICIAL SCORE CERTIFICATE)」(コピー可)を添付してください。 ※公式認定証は試験日から2年以内であれば再発行可能です。 ※海外で受験した場合はその国ごとに実施団体が違うのでご注意ください。	有	有 2021.4.1 以降に 取得した 得点
(3)	仏検免除	実用フランス語技能検定試験1級合格者	仏語 免除					※公益財団法人フランス語教育振興協会発行の「文部科学省後援実用フランス語技能検定試験合格証明書」(和文のみ有効・コピー可)を添付してください。	有	無
(4)	西検免除	スペイン語技能検定試験1級合格者	西語 免除					※公益財団法人日本スペイン協会発行の「合格証書」「合格証明書」(コピー可)を添付してください。	有	無
(5)	DELE免除	DELE(下記①～③のいずれか) ①DELE C1 ②DELE C2 ③DELE Superior	西語 免除					※Instituto Cervantes発行の「ディプロマ」(コピー可)を添付してください。	有	無
(6)	独検免除	ドイツ語技能検定試験1級合格者	独語 免除					※公益財団法人ドイツ語学文学振興会発行の「合格証明書」(和文のみ有効・コピー可)を添付してください。	有	無
(7)	中検免除	中国語検定試験1級合格者	中国語 免除					※一般財団法人日本中国語検定協会発行の「中国語検定試験合格証明書」(和文のみ有効・コピー可)を添付してください	有	無
(8)	HSK免除	HSK(漢語水平考試)6級180点以上 (旧HSK 高等試験9級以上)取得者	中国語 免除					※中国政府教育部孔子学院总部制作のHSKの「成績報告」(コピー可)を添付してください。 ※2021年より「孔子学院」を改称し「中国語交流合作中心」	有	無
(9)	伊検免除	実用イタリア語検定試験1級合格者	伊語 免除					※イタリア語検定協会発行の「合格認定証」「合格証明書」(コピー可)を添付してください。	有	無

申請の種類	対象者	筆記試験科目					添付書類有無	免除申請の有効期限の有無				
		外国語		日	日	一			通			
		英語 仏語 西語 独語 中国語 伊語 韓国語	その他	本 地 理	本 歴 史	般 常 識				訊 案 内 の 実 務		
(10)	ハン検免除	ハングル能力検定試験1級合格者	韓国語 免除						※特定非営利活動法人ハングル能力検定協会発行の「1級合格証明最高峰カード」(コピー可)を添付してください。	有	無	
(11)	TOPIK免除	TOPIK(韓国語能力試験)6級230点以上取得者	韓国語 免除						※国立国際教育院制作のTOPIKの「成績証明書」(コピー可)を添付してください。	有	無	
(12)	旅取免除	下記のいずれか 総合・国内旅行業務取扱管理者 一般・国内旅行業務取扱主任者 一般・国内旅行業務取扱主任者認定証保有者 ※旅程管理主任者(ツアーコンダクター)の資格は対象外			免除				※日本旅行業協会または全国旅行業協会が発行する「合格証書」(コピー可)を添付してください。	有	無	
(13)	歴検免除	歴史能力検定日本史1級 歴史能力検定日本史2級 のうちいずれか			免除				※歴史能力検定協会発行の「合格証明書」(コピー可)を添付してください。	有	無	
(14)	センター 日本史B 免除	大学入試センター試験 「日本史B」60点以上 ※独立行政法人大学入試センター法(平成11年法律第166号)第13条第1項第1号に基づく			免除				※大学入試センター試験日本史B60点以上の成績を示すもの下記2点からどちらかを添付してください。 ①同センター発行の「試験成績通知書(ハガキ)」(両面・コピー可) ②同センター発行の得点を示す書類(開封無効。封筒の中身の確認が必要な場合は控え用に2通を同センターに請求してください) ※令和3年度より実施の大学入学共通テストは対象とはなりません。	有	有 2017.4.1 以降に 取得した 得点	
(15)	センター 現代社会 免除	大学入試センター試験 「現代社会」80点以上 ※独立行政法人大学入試センター法(平成11年法律第166号)第13条第1項第1号に基づく			免除				※大学入試センター試験現代社会80点以上の成績を示すもの下記2点からどちらかを添付してください。 ①同センター発行の「試験成績通知書(ハガキ)」(両面・コピー可) ②同センター発行の得点を示す書類(開封無効。封筒の中身に確認が必要な場合は控え用に2通を同センターに請求してください) ※令和3年度より実施の大学入学共通テストは対象とはなりません。	有	有 2017.4.1 以降に 取得した 得点	
(16)	前年度一部 合格科目免除	2021年度筆記試験で一部科目に合格の方 ※2021年度筆記試験結果通知書にて「合格」と記載された該当科目のみ対象とする ※外国語科目は2021年度を同一外国語に限る	当該科目を免除							外国語は言語を入力してください。 2021年度受験番号を入力してください。 ※2021年度筆記試験結果通知結果を参照してください。	無	有 2022年度に 限り有効

申請の種類	対象者	筆記試験科目					通訳案内の実務	添付書類有無	免除申請の有効期限の有無	
		外国語		日本地理	日本歴史	一般常識				
		英語 仏語 西語 独語 中国語 伊語 韓国語	その他							
(17)	前年度5科目合格者免除	2021年度筆記試験全科目(筆記試験外国語、日本地理、日本歴史、一般常識、通訳案内の実務)を受験し合格した方(=口述試験が不合格または未受験の方) ※2021年度受験時に 免除が含まれている場合(筆記試験結果通知が「筆記試験通過」の方)は該当しない ※外国語科目は2021年度と同一外国語に限る ※「 筆記試験合格証書 」を所持している方が対象。	当該科目を免除					2021年度の受験番号を入力してください。 ※「 筆記試験号合格証書 」に記載されている合格番号(9ケタ)ではありません。	無	有 2022年度に限り有効
(18)	(他の外国語での)既合格者免除	平成30年度以降に全国通訳案内士試験合格の方で、他の外国語を受験する方					合格年度(2018年、2019年、2020年、2021年)と合格言語を入力。 所持する全国通訳案内士試験合格証の合格番号を入力してください。 ※合格年度は試験日計算です。 合格証に記載された発行年ではありません。	無	無	
		平成29年度までに通訳案内士試験合格の方で、他の外国語を受験する方 また、通訳案内士法附則第3条第3項に基づいた観光庁長官が行う研修を修了していない方					合格年度(西暦)と合格言語を入力。 所持する通訳案内士試験合格証の合格番号を入力してください。 ※合格年度は試験日計算です。 合格証に記載された発行年ではありません。	無		
		平成29年度までに全国通訳案内士試験合格の方で、他の外国語を受験する方 また、通訳案内士法附則第3条第3項に基づいた観光庁長官が行う研修を修了した方					合格年度(西暦)合格言語を入力。 所持する通訳案内士試験合格証の合格番号を入力してください。 ※合格年度は試験日計算です。 合格証に記載された発行年ではありません。 通訳案内士法附則第3条第3項に基づいた観光庁が行う研修を修了した際の「研修終了番号」を入力の上、観光庁発行の「観光庁研修修了証明書」(コピー可)を添付してください。	無		
(19)	地域限定通訳案内士※試験合格者免除	地域限定通訳案内士試験合格の方	当該外国語を免除				外国語の言語を入力してください。 合格番号、合格年度、合格した都道府県名を入力してください。	無	無	

※地域限定通訳案内士…平成 29 年度まで実施していた筆記試験の外国語科目を国家試験と共通試験問題を使用して都道府県が試験を実施する当該地域のみ（北海道・岩手県・栃木県・静岡県・長崎県・沖縄県）で有効な通訳案内士制度。研修で養成される特例特区ガイドは該当しません。

6. 受験願書入力方法

電子申請システム内の案内に従ってご入力ください。

電子申請システムトップページ

<https://shiken.jnto.go.jp/>

項 目 ※は必須入力項目	事 項	施行要領 掲載ページ
氏名 ※	現在居住する国によって、記載方法が異なる。 ローマ字(Roman alphabet)の場合は、ブロックレターで正しく入力。 ●日本国籍かつ日本居住 ⇒ 日本語(戸籍に記載されている氏名) ●外国籍かつ日本居住者 ⇒ ローマ字(Roman alphabet)(在留カードに記載されている氏名)在留カードに漢字氏名が記載されている方は漢字も可。 ●外国籍かつ外国居住者 ⇒ ローマ字(Roman alphabet)(パスポートに記載されている氏名) ●日本国籍かつ外国居住者 ⇒ ローマ字(Roman alphabet)(パスポートに記載されている氏名) 特殊な漢字(画数が多く複雑なもの・微妙な違いで別の漢字となるもの・旧字体・異体字・別字体・中国語字体など)については特に、注意すること。	P6
フリガナ ※	外国籍かつ日本居住者は在留カードに記載されている通りに入力。	なし
性別 ※	該当するものを選択する。	なし
生年月日 ※	生年月日を西暦で入力。	P6
本籍(都道府県) (※本籍か国籍はいずれかを入力)	日本国籍かつ日本居住者のみ入力。本籍のある都道府県名を入力。 ※住所地ではありません。	P6
国籍 (※本籍か国籍はいずれかを入力)	外国籍の場合、または、日本国籍かつ外国居住者の場合のみ入力。 ●外国籍かつ日本居住者 ⇒ 日本語(漢字・カタカナ)(在留カードに記載されている国名等) ●外国籍かつ外国居住者 ⇒ パスポートに記載されている国名 ●日本国籍かつ外国居住者 ⇒ 「日本」と入力。	P6
写真 ※	カラーまたは白黒で申請日より6カ月以内に撮影した、無帽、上半身、正面、無背景、で本人と確認できるもの。	P9
写真撮影年月 ※	申請日より6カ月以内に撮影した、撮影年月を選択。	P9
郵便番号 ※	現住所の郵便番号を入力。例100-0000 ハイフンを入力。	なし
住所 ※	日本居住者は住民票または在留カードの記載どおりに正しく、都道府県名も入れて入力。 また、外国居住者は国名を含めて入力。	P7
電話番号・携帯番号 ※	必ず受験者本人の電話番号もしくは携帯番号を入力。外国の場合は、国番号も入力。 ハイフン、アンダーバー、ドット、数字の1とアルファベットのL等については特に注意すること。 電話番号は1つのみ入力。複数ある場合は「緊急連絡先」に入力。	P7
FAX番号	FAXがある方は入力。外国の場合は、国番号も入力。	なし

項 目 ※は必須入力項目	事 項	施行要領 掲載ページ
緊急連絡先種別	自宅・携帯番号・勤務先・その他より選択し入力。	なし
緊急連絡先電話番号・携帯番号	携帯番号・勤務先等、日中に連絡の取れる連絡先の番号を入力。	P7
緊急連絡先FAX番号	日中に連絡の取れる番号を入力。ない場合は空白でよい。	P7
希望する配慮事項	希望する配慮事項を入力。	P6
受験外国語 ※	受験する外国語について施行要領を参照の上、選択して入力。 筆記試験を免除申請する場合も入力。	P7
受験第二外国語 (二カ国語受験の場合必須※)	二カ国語受験の方は受験第二外国語を選択して入力。※「受験第二外国語」は筆記試験免除を申請する外国語。免除申請ができない場合は受験不可。	P12
簡体字・繁体字	受験外国語が中国語の場合は簡体字・繁体字どちらかを選択する。但し、中国語が免除の場合は入力しなくて良い。	P7
筆記試験受験地 ※	施行要領で確認の上、受験地を選択して入力。 すべての受験科目に免除申請を行う方、または2021年度筆記試験合格証書をもち、筆記試験免除(前年度5科目免除)申請する方は「免除」を選択して入力。 ※願書提出後の受験地の変更は不可。	P2
口述試験受験地 ※	施行要領で確認の上、受験地を選択して入力。筆記試験の受験地との組合せを確認する。 ※申請完了後の受験地の変更は不可。	P3
免除科目申請	申請する免除科目を選択。	P15-17

7. 受験手数料

(1) 手数料額

一カ国語受験は 11,700 円です。二カ国語受験は、23,400 円です。

※日本円のみ受け付けます。

※原則、領収書の発行はしていません。必要な場合には願書受付期間内に全国通訳案内士試験事務局までご連絡ください。願書受付期間を過ぎると領収書の発行はできませんので **ご注意願います。**

※免除の有無による受験手数料の減額はありませぬ。

※受領した受験手数料は、**通訳案内士法第 10 条の規定により返還いたしません。**

(2) 支払方法

以下のクレジットカード又はコンビニエンスストアでの支払いのみ受け付け可能です。電子申請システムの入力画面の指示に従ってオンラインで手続きを行ってください。

【クレジットカード】

VISA、MASTER、JCB、AMEX、DINERS、DISCOVER が使用できます。

一カ国語受験・・・12,091 円（受験手数料 11,700 円＋事務手続手数料 391 円）

二カ国語受験・・・24,178 円（受験手数料 23,400 円＋事務手続手数料 778 円）

【コンビニエンスストア】

日本国内のローソン、ファミリーマート、ミニストップ、デイリーヤマザキ、セイコーマート、セブンイレブンの店舗で支払いができます。

一カ国語受験・・・12,007 円（受験手数料 11,700 円＋事務手続手数料 307 円）

二カ国語受験・・・23,863 円（受験手数料 23,400 円＋事務手続手数料 463 円）

※上記お近くのコンビニエンスストアにて、支払い期限内にお支払いください。

(注) 郵便、銀行振替送金でのお支払いはできません。予めご了承ください。

8. 受験票の交付

電子申請が承認（受験手数料のお支払を含む）された方は、8月上旬よりマイページで受験票をご確認いただけます。

筆記試験の全科目について免除を受け、口述試験から受験される方についても受験票を8月上旬よりマイページでご確認いただけます。

※受験票は試験当日、必ずご提示ください。スマートフォン等の画面に表示、または、紙にプリントアウトしたものをご持参ください。

9. 試験当日の注意、新型コロナウイルス感染症などへの対応について

試験当日の注意事項は、筆記試験・口述試験ともに、受験票に記載します。

注意事項に違反した場合や係員の指示に従わない場合は受験ができなくなることがあります。

【新型コロナウイルス感染症などへの対応について】

① 受験者の方へのお願い

試験当日は、感染予防のため、試験会場へ来場する前に必ず検温をしてください。

会場によってはその場で検温が必要な場合があります。当日係員の指示に従ってください。発熱、咳、嗅覚障害等の症状がある方は、他の受験者への感染のおそれがあるため、当日の受験を控えていただくようお願いいたします。また、新型コロナウイルス感染症などに罹患し治療していない方や濃厚接触者にあたる方も当日の受験を控えていただくようお願いいたします。なお、これを理由とした欠席者向けの再試験は予定しておりません。

また、試験室の座席配置については左右の受験者と1席分程度距離を確保した配席をしておりますが、前後は1席分程度の間隔を確保できない場合があります。加えて、試験会場内での移動、トイレの順番待ちの際は、周囲の方との距離を保っていただきますようお願いいたします。

② マスク着用のお願い

マスクの着用をしていない方は会場へ入場できません。必ず試験中・試験前後を含めマスクの着用をお願いいたします。マスクはご自身でご用意ください。（マスク着用が難しい方は願書申請時、配慮事項の欄に着用できない理由を申請してください。）なお、試験期間中の写真照合の際には、試験係官の指示に従い、マスクを一時的に外してください。マスクの着脱について、試験係官の指示に従っていただけない場合は、失格とする場合がございます。また、携帯用手指消毒用アルコールをお持ちの方は、持参しても差し支えありません。

③ 試験室の換気

試験室は適宜、換気を行います。室温の高低に対応できるよう服装には注意してください。

10. 合格後の手続き

試験の最終合格者が全国通訳案内士として認定されるには、居住地の都道府県知事あてに申請し、登録する必要があります。(登録に期限はありません。)

外国居住の合格者が全国通訳案内士として登録する場合、日本居住の代理人を定めて代理人の住所地に登録申請することとなります。この代理人となれるのは、原則、全国通訳案内士等の手配を行なっている者、または登録が行われることを条件に手配を行うことを予定している合格者と手配契約(条件付のものを含む)を結んでいる者(個人または法人)です。外国居住の合格者が登録申請する際には、代理人も都道府県の窓口に出向くことになります。

登録に関しては、都道府県観光担当部署にお問い合わせください。

その他、全国通訳案内士制度に関しては、観光庁ホームページもご参照ください。

<https://www.mlit.go.jp/kankocho/shisaku/kokusai/tsuyaku.html>

11. よくある質問 (Q&A)

Q. 施行要領・願書はどこでもらえますか?
A. 2021年度から完全電子申請化に伴い、印刷物による施行要領・願書の配付は行っておりません。 施行要領ならびに、出願方法、願書申請は下記URLからご確認ください。 ※施行要領は毎年変わります。最新の施行要領を確認してお申込みください。 https://www.jnto.go.jp/jpn/projects/visitor_support/interpreter_guide_exams/operation_2022.pdf
Q. 受験地・受験科目等を変更できますか?
A. 願書提出後の受験科目・選択外国語・受験地・免除申請の変更・追加はできません。 なお、現住所・氏名・本籍等に変更があった場合にはマイページ上で変更が可能です。 ※願書記載事項変更届提出可否について決定後、回答内容を修正します。 「4. 願書の申請期間及び申請方法等」の「(3) 申請後の変更」をご確認ください。
Q. 免除申請書類はコピーでも可能でしょうか?
A. 「6. 免除申請早見表」の「入力内容」をご確認ください。
Q. 免除申請に必要な受験番号を忘れてしまった。
A. お調べいたしますので、全国通訳案内士試験事務局（電話番号：050-3659-6494）までご連絡ください。
Q. 免除申請書類の提出はどうするのか?
A. マイページよりアップロードをお願いします。「5. 免除申請について」をご確認ください。 大学入試センターからの「開封無効」書類のみ郵送で受け付けます。
Q. 免除申請するための書類は、いつのものまで有効ですか。
A. 取得時期制限がある資格（TOEIC・センター試験）以外はいつのものでも構いません。 必要書類がお手元になく、発行元で再発行ができない場合は免除申請ができません。
Q. 試験会場はいつ頃わかりますか?
A. 筆記試験については8月上旬、口述試験については11月下旬を予定しております。 受験票に記載しますので、受験票発行後マイページでご確認ください。
Q. 参考書や教科書の販売はしていますか?
A. 日本政府観光局（JNTO）では、参考書や教科書の販売は行っていません。 過去の筆記試験問題の一部（含解答例）をウェブサイト上で公開しています。 https://www.jnto.go.jp/jpn/projects/visitor_support/interpreter_guide_exams/question_archive.html
Q. 日本地理、日本歴史、一般常識、通訳案内の実務についての出題範囲について知りたい。
A. 詳しくは全国通訳案内士試験のガイドラインをご確認ください。 https://www.mlit.go.jp/kankochu/shisaku/kokusai/content/001408467.pdf
Q. 受験をキャンセルしたいので、受験手数料の払い戻しは可能でしょうか?
A. 受験手数料支払後は、通訳案内士法第10条により、いかなる理由があっても返金しません。 また、申請の取消しもできません。

※電子申請システム内で、よくあるご質問を公開しております。合わせてご確認ください。

12. 「開封無効」の書類送付先・お問い合わせ先

送付先住所：〒790-0011 愛媛県松山市千舟町4丁目3-7 青野ビル

株式会社 TKP コミュニケーションズ内 全国通訳案内士試験事務局

電話：050-3659-6494（土日・祝日・年末年始を除く10:00～17:00）

※書類送付による願書の受付はございません。

※「開封無効」免除書類以外の郵送物は受理できません。

※完全電子申請化に伴い、出願書類、資料等の紙媒体での配布は実施しておりません。

※郵送、ご来社による出願書類、資料等の請求は承れません。予めご了承ください。

※試験得点及び合否の照会にはお答えできません。また、採点に関するお問い合わせには
応じられません。

※試験についてのお問い合わせを試験会場に直接電話等で照会することは、固くお断りします。

13. 個人情報保護方針等について

日本政府観光局（JNTO）個人情報保護方針

https://www.jnto.go.jp/jpn/site_info/privacy_policy.html

日本政府観光局（JNTO）は、2022年度全国通訳案内士試験に係る事務手続き、試験運營業務等を株式会社 TKP コミュニケーションズに委託しています。

全国通訳案内士試験出願及び試験により取得した個人情報は、全国通訳案内士試験実施事務及び統計目的以外に使用することはありません。

受験を希望される方は、上記に同意のうえ、電子申請を行ってください。

全国通訳案内士試験概要については日本政府観光局（JNTO）ウェブサイトもご参照ください。

https://www.jnto.go.jp/jpn/projects/visitor_support/interpreter_guide_exams/copy_of_index.html